

ZERO ROUND @KOBE



**JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING**

- EVENT REPORT -

2019年10月 JeGT実行委員会

“若者のクルマ離れ解消”と “eスポーツのさらなる発展”を目指して—。

2019年9月29日(日)、神戸ファッションマートにて「JeGT GRAND PRIX ZERO ROUND @KOBE」を開催いたしました。

開催にあたって多大なご協力をいただきました企業、団体、行政、個人の皆様には、改めて深謝申し上げます。

さて、このJeGT GRAND PRIXは「モータースポーツとeスポーツのコラボによる新たなレースカテゴリー」として、2020年の正式発足を目指し、今回はそのプレ大会という位置付けで開催いたしました。

「若者のクルマ離れ解消」と「黎明期にあるeスポーツのさらなる発展」を具体目標に、PlayStation®4用ソフトウェア「グランツーリスモSPORT」を使用タイトルとして、プロレーシングチーム、プロゲーミングチームを中心に、パーツメーカーやカーメディア等から計14のエントラントに参戦いただき、初開催ながらも大会は大いに盛り上がりしました。

また、これまでクルマやeスポーツにそこまで大きな興味関心を持ってもらえなかった方々にも訴求するべく、実車の展示・試乗会や

eスポーツ体験ブースなど、多数のサブプログラムも合わせて実施したことで、様々な層の方に楽しんでいただけたと考えております。

しかしながら、全体的な大会・イベント運営においてはたくさんの課題や要改善点も散見いたしました。今回はあくまでプレ大会という位置づけではありましたが、来年以降の本格開催に向けて、今回明るみになった改善点を可能な限りブラッシュアップしてまいりたいと思います。

2020年からは、全国各地でのラウンド開催による年間シリーズ展開を目指しております。それを実現するには、私共主催者の努力が最重要であることはもちろんですが、当大会を支えていただくスポンサー、協力企業、行政団体等の皆様の存在が不可欠です。

まだまだ始まったばかりのカテゴリーではございますが、クルマとeスポーツの未来に明るい光を照らす一助となるよう精進してまいりますので、ひきつづきご支援のほどよろしくお願いいたします。

2019年10月
JeGT実行委員会 委員長 北浦 諭



ZERO ROUND @KOBE



JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING

- 大会概要 -

開催概要

大会名称	JeGT GRAND PRIX ZERO ROUND @KOBE(略称: JeGT ZEROラウンド)
開催日	2019年9月29日(日)
開催時間	10:00~18:00(大会) / 10:00~16:00(屋外イベント)
実施内容	プロレーシングチーム・プロゲーミングチーム等によるレーシングゲーム競技大会、その他各種サブプログラム
会場	神戸ファッションマート 1階 アトリウムプラザ(レース会場) および正面玄関前公開空地(屋外会場)
出場チーム数	14チーム
使用タイトル	PlayStation®4用ソフトウェア「グランツーリスモSPORT」
来場者数	のべ2,500人
主催	JeGT実行委員会
企画運営	NGM株式会社
事務局	株式会社ニュースダスト
後援	神戸市、兵庫県eスポーツ連合、六甲アイランド地域振興会
協賛	株式会社トラスト、株式会社エッチ・ケー・エス、株式会社ブリッツ、株式会社レイズ、神戸トヨペット株式会社、横浜ゴム株式会社、住友ゴム工業株式会社、兵庫日産自動車株式会社、エレコム株式会社
協力	日産自動車株式会社、NTT西日本、株式会社モノリス、八光自動車工業株式会社



エントラント一覧

「JeGT GRAND PRIX ZERO ROUND @KOBE」では、初開催にもかかわらず、当初の予定であった12チームを超える計14チームがエントリーしました。

プロレーシングチームからはD'station RacingやRFCレーシング、RAYS e-Racing Team、エヴァンゲリオンレーシングといった現役のプロレーサーを擁するチームが参戦。

チューニング業界からはTRUSTがNISSANとワンズバトルドックスの合同エントラントして参戦したほか、HKS、BLITZの参戦によって国内3大チューニングメーカーがそろいました。

プロゲーミングチームからは1's Battle Dogs、ODDEYE Gamingがエントリー。ODDEYE Gamingにはグランツーリスモの世界大会での入賞経験を持つ宮園拓真選手が参戦し、1's Battle DogsからはFPSのプロゲーマー兼ユーチューバーとして活躍するMelton選手が参戦するなど、話題を呼びました。

カーメディアからはWEB CARTOP、web optionという有名媒体が、ドリフト界からは5FIVEX TIRES、URAS、企業チームとして大村製作所が参戦。通常のモータースポーツでは実現し得ない顔ぶれとなりました。

 NISSAN×TRUST Racing×1'sBD	 D'station Racing	 RFCレーシング	 1's Battle Dogs
 ODDEYE Gaming	 HKS (有志チーム)	 RAYS e-Racing Team	 ヴァンテージV12×大村製作所
 WEB CARTOP	 web option Racing	 URAS GAME ONCHI with DUNLOP	 BLITZ Racing Project
 5FIVEX TIRES RACING TEAM	 エヴァンゲリオンレーシング	エントラント数：計 14 チーム	



総合実況・解説・進行

【総合実況】鈴木 学(中央)

“マナP”の愛称で知られる元レーシングドライバー。その経験を活かし「D-1 GP」において2001年～現在に至るまでMCを務める。

【解説】内海 彰乃(右)

兵庫県出身のD-1 GP現役選手。選手として2017年の中国ラウンド優勝などの輝かしい成績を残しており、審査員としても活躍。

【進行】林 哲也(左)

主にサッカーを中心としたスポーツMCとして活躍中。最近ではウイングイレブン兵庫県代表決定戦のMCなどeスポーツの司会も。



大会会場



国内最大級のファッションショー「神戸コレクション」発祥の地としても知られる商業施設「神戸ファッションマート」。
大会会場となったアトリウムプラザは1階から10階までが吹き抜けとなっている2,100㎡の広大なイベントスペース。
正面玄関前の公開空地では高級車の展示やキッズメカニック体験、NISSAN GT-R、TOYOTA Supraの試乗会などを行いました。

タイムテーブル

9:30 開場

10:00 オープニング

10:45 トークショー「プロレーサーとeスポーツ」

11:30 予選(上位6チームが決勝進出)

13:15 ぶよぶよプロゲーマーに挑戦!

13:45 ルーザーズ(上位2チームが決勝進出)

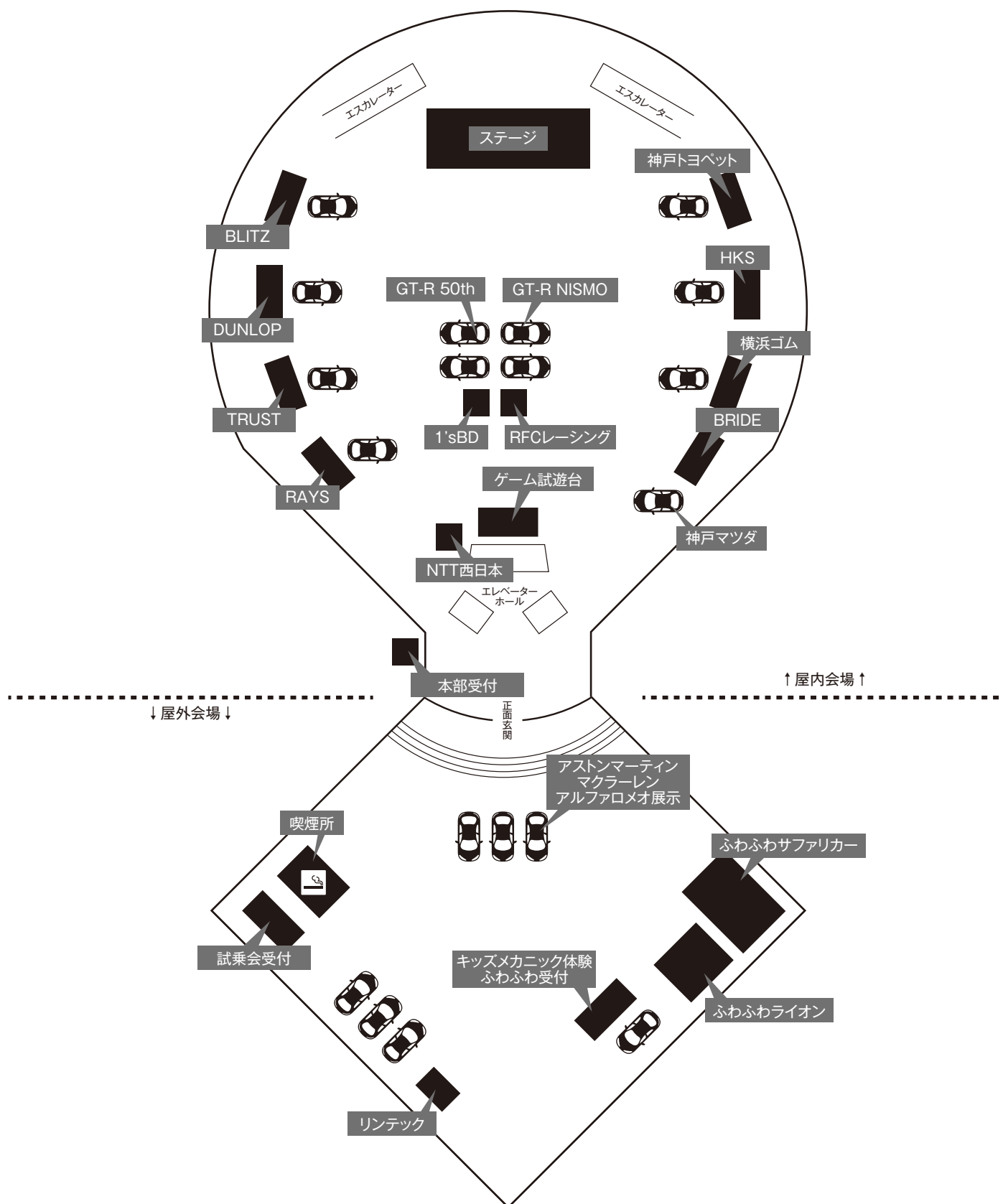
14:30 トークショー「NISSAN GT-RとJeGT」

15:15 プレゼント争奪じゃんけん大会

16:15 決勝戦

17:15 表彰式・エンディング

会場図



使用コース

今大会では、筑波サーキット(予選Aグループ)、鈴鹿サーキット(決勝)といったプロレーサーにとって馴染み深いコース以外にも、海外のコースであるウィロースプリングス・レースウェイ(予選Bグループ)やリアルモータースポーツではありえない東京エクスプレスウェイ(ルーザーズ)を採用し、eスポーツならではの使用コースとなるよう選定しました。



筑波サーキット(予選Aグループ)



ウィロースプリングス・レースウェイ(予選Bグループ)



東京エクスプレスウェイ南ルート(ルーザーズ)



鈴鹿サーキット(決勝)

大会レギュレーション

項 目	予 選	ルーザーズ	決 勝
レース方式	スプリントレース(1名)	スプリントレース(2名)	耐久レース
周回数/時間	10周(1レース)	5周(2レース)	50分
スタート方式	グリッドスタート(前日抽選)	グリッドスタート	グリッドスタート
スリップストリーム	リアル	リアル	リアル
メカニカルダメージ	なし	なし	強い
タイヤの摩耗	なし	なし	5倍
燃料の消耗	なし	なし	4倍
カテゴリー	Gr.3	Gr.3	Gr.3
バランスオブパフォーマンス	オン	オン	オン
上限タイヤ	無制限	無制限	無制限
車両セッティング	有り	有り	有り
義務ピットイン回数	なし	なし	なし

ZERO ROUND @KOBE



JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING

- リザルト -

リザルト - 予選 -

予選は各チームの代表選手1名で争うスプリントレース。グリッドは前夜に開かれたドライバーズミーティングにて抽選を行い決定しました。

予選Aグループはプロレーサーを中心とした実力派の顔ぶれで、コースは馴染みのある筑波サーキット。抽選でポールポジションを獲得したNISSAN×TRUST Racing×1'sBDの新川真也選手がスタートから最後まで逃げ切り見事決勝進出を決めました。2番手争いはヤン・マーデンボロー、JPオリベイラという外国人レーサーの熾烈な争いに。接戦の末ヤン選手のRAYS e-Racing Teamが

2着に入りました。

Bグループは打って変わって企業チームやプロゲーミングチームなどを中心としたバラエティ豊かなチーム構成に。

コースとなったアメリカの「ウィロースプリングス」はおそらく誰も走ったことがないため、レースは序盤から波乱の展開に。

そんな中、1着は7番グリッドという不利なスタートから見事に巻き返したHKSが勝ち取り、2着は終始安定した走りでもこちら5番グリッドから逆転したODDEYEが入りました。

RESULT Qualifying A

コース：筑波サーキット(10周)

レース形式：スプリントレース(グリッドは抽選により決定)

RANK	NO.	ENTRANT	GRID	DRIVER	MACHINE
1	35	NISSAN×TRUST Racing×1'sBD	1	新川 真也 シンカワシンヤ	GT-R NISMO GT3 Greddyバージョン
2	37	RAYS e-Racing Team	2	ヤン・マーデンボロー	GT-R ニスモ GT3
3	7	D'station Racing	7	JPオリベイラ ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	Aston Martin Vantage AMR GT3
4	01	エヴァンゲリオンレーシング	4	佐藤 公哉 サトウキミヤ	Lamborghini HURACAN GT3
5	108	RFCレーシング	5	菅沼 聡 スガヌマサトシ	メルセデス AMG GT3
6	111	WEB CARTOP	6	桂 伸一 カツラシンイチ	GT-R ニスモ GT3
7	77	WEB OPTION Racing	3	アンダー鈴木 アンダースズキ	ランサーエボリューション Final Edition Gr.3

RESULT Qualifying B

コース：ウィロースプリングス・レースウェイ ストリーツオブウィロースプリングス(10周)

レース形式：スプリントレース(グリッドは抽選により決定)

RANK	NO.	ENTRANT	GRID	DRIVER	MACHINE
1	87	HKS(有志チーム)	7	中井 宏彰 ナカイヒロアキ	トヨタ GRスープラ レーシングコンセプト '18
2	31	ODDEYE Gaming	5	BLACK ブラック	マツダ アテンザ GT3
3	90	BLITZ Racing Project	1	梶本 雅暉 カジモトマサキ	BLITZ Racing Project GR Supra
4	8	ヴィンテージV12×大村製作所	2	江原 寛 エハラヒロシ	メルセデス AMG GT3
5	1	1's Battle Dogs	4	Amelie. アメリ	SUBARU WRX
6	5	5FIVEX TIRES RACING TEAM	3	今前田 隆敏 イママエダタカトシ	R8 LMS
7	3	URAS GAME ONCHI with DUNLOP	6	keiichi nomura ノムラケイイチ	Lamborghini HURACAN GT3

リザルト - ルーザーズ -

各予選で4着以下となった計8チームから上位2着が決勝進出となるルーザーズを実施しました。

コースは、リアルモータースポーツではありえない東京エクスプレスウェイ(首都高)を採用。各チーム1名ずつ5周のスプリントレースを2回行い、着順合計数がより小さいチームが上位となるルールとしました。

第1レースでは、予選で好走をしながら途中無念のクラッシュをしてしまったRFCレーシングの菅沼聡選手が雪辱を果たしました。

第2レースは予選で惜しくも4位となったエヴァンゲリオンレーシングが元嶋佑弥選手の好走で1着を獲得。5FIVEX TIRESも3着2着と善戦しましたが、「2レースの着順合計数が同じ場合はどちらか一方のレースで着順が上のチームを上位とする」ルールによって、惜しくも決勝進出を逃しました。

今回ももっとも遠方である九州から参戦した「D1レジェンド」こと野村謙選手とその息子・圭市選手のURASは、事前の自己評価通りの結果となりましたが、大会を大いに盛り上げてくれました。



RESULT LOSERS

コース：東京エクスプレスウェイ(首都高)南ルート 内回り(5周)
レース形式：各チーム1名ずつによるスプリントレースを2回実施

RANK	1st RANK	2nd RANK	NO.	ENTRANT	GRID	DRIVER	MACHINE
1	1	3	108	RFCレーシング	3	1st. 菅沼 聡 スガヌマサトシ 2nd. ぶじいじゅん	メルセデス AMG GT3
2	4	1	01	エヴァンゲリオンレーシング	1	1st. 佐藤 公哉 サトウキミヤ 2nd. 元嶋 佑弥 モトジマユウヤ	Lamborghini HURACAN GT3
3	3	2	5	5FIVEX TIRES RACING TEAM	6	1st. はげまる ハゲマロ 2nd. AiKe アイク	R8 LMS
4	2	6	1	1's Battle Dogs	4	1st. 池島 実紅 イケジマミク 2nd. Melton メルトン	SUBARU WRX
5	7	4	111	WEB CARTOP	5	1st. 原田 貴俊 ハラダタカトシ 2nd. 桂 伸一 カツラシンイチ	GT-R ニスモ GT3
6	6	5	8	ヴィンテージV12×大村製作所	2	1st. 長嶺賢太郎 ナガミネケンタロウ 2nd. 長谷部智秋 ハセベトモアキ	メルセデス AMG GT3
7	5	7	77	WEB OPTION Racing	7	1st. 鍵市篤史 カギイチアツシ 2nd. 栗野如月 アワノキサラギ	ランサーエボリューション Final Edition Gr.3
8	8	8	3	URAS GAME ONCHI with DUNLOP	8	1st. keiichi nomura ノムラケイイチ 2nd. D1LEGEND nomuken ノムケン	Lamborghini HURACAN GT3

※ルーザーズの総合順位は2回のレースの順位合計数がより小さい順となります。
※合計順位が同数の場合、どちらか一方のレースでより高い順位となったチームを上位とします。
※2レースの順位が全く同じ場合(例:1位+3位、3位+1位)は、1stレースの結果を優先します。

リザルト - 決勝 -

予選・ルーザーズの熾烈なレースを勝ち抜いた8チームによる決勝は、レーサーなら誰もが憧れる国内最高峰のコース・鈴鹿サーキットを採用し、本物のモータースポーツに可能な限り近づけるため「50分間の耐久レース」にて行いました。

ステージ横に設置したピットブースは、予選からすでに各チームスタッフとドライバーが通信を行っていましたが、この決勝では義務ピットイン回数（2回）が定められており、またその際はドライバーチェンジが必須となるなど、特にピットとドライバーの通信がより重要となるように設定しました。

注目のレースは、4番グリッドからスタートしたODDEYEが、グランツーリスモの世界大会で2位に入る実績を持つ宮園選手の活躍で1位に躍り出てから独走体制に。相方のBLACK選手は本業がFPS（シューティングゲーム）のプロゲーマーながら、プロレーサーにも引けを取らない安定した走りでも1位をキープ。終わってみれば2位以下に圧倒的な大差をつけての優勝となりました。

2着にはRAYS e-Racing Team、3着にはNISSAN×TRUST Racing×1'sBDが入り、初開催となったJeGT ZEROラウンドは盛会のうちに終了しました。



RESULT FINAL

コース：鈴鹿サーキット

レース形式：50分耐久レース 義務ピットイン回数：2回（ドライバーチェンジ必須）

RANK	NO.	ENTRANT	GRID	DRIVER	MACHINE
1	31	ODDEYE Gaming	4	1. BLACK ブラック 2. 宮園 拓真 ミヤゾノタクマ	マツダ アテンザ GT3
2	37	RAYS e-Racing Team	3	1. ヤン・マーデンボロー 2. 加藤 彰彬 カトウテルアキ	GT-R ニスモ GT3
3	35	NISSAN×TRUST Racing×1'sBD	1	1. 新川 真也 シンカワシンヤ 2. 長原叶志郎 ナガハラキョウシロウ	GT-R NISMO GT3 Greddyバージョン
4	7	D'station Racing	5	1. JPオリベira ジョアオ・パオロ・デ・オリベira 2. 野島 俊哉 ノジマトシヤ	Aston Martin Vantage AMR GT3
5	108	RFCLレーシング	7	1. ふじいじゅん 2. 菅沼 聡 スガヌマサトシ	メルセデス AMG GT3
6	87	HKS(有志チーム)	2	1. 中井 宏彰 ナカイヒロアキ 2. 甲斐久南太 カイヒナタ 3. 後藤 啓一ゴトウケイイチ	トヨタ GRスープラ レーシングコンセプト '18
7	90	BLITZ Racing Project	6	1. 守田 幸信 モリタユキノブ 2. 梶本 雅暉 カジモトマサキ	BLITZ Racing Project GR Supra
8	01	エヴァンゲリオンレーシング	8	1. 佐藤 公哉 サトウキミヤ 2. 元嶋 佑弥 モトジマユウヤ	Lamborghini HURACAN GT3

ZERO ROUND @KOBE



JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING

- 同時開催プログラム -

屋内会場 PR ブース

大会会場では様々なPRブースが出展。エントラントの1's Battle dogsは所属するプロゲーマーと来場者による対戦コーナーを、RFCLレーシングはレースカーの搭乗体験やレースクイーンとの記念撮影が行われ、協賛企業のブースでは各社の商品やサービスのPR、車両展示等を行っていただきました。大会の使用タイトルであるグランツーリスモの試遊台も設置し、来場者の方々に楽しんでいただきました。



NISSAN GT-R NISMO 2020年モデル



NISSAN GT-R 50周年記念車



1's Battle Dogs



RFCLレーシング



BLITZ



DUNLOP



TRUST



RAYS



神戸トヨペット



HKS



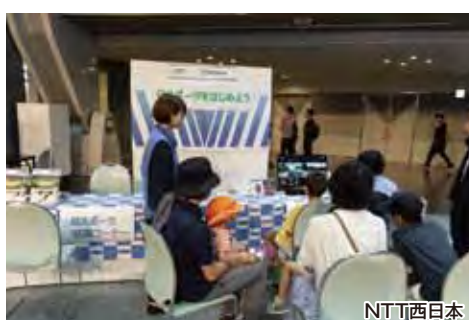
横浜ゴム



BRIDE



神戸マツダ



NTT西日本



グランツーリスモ試遊台

ステージプログラム

10時からのオープニング(開会式)では全出場チームがステージに登壇し、大会への意気込みなどを話していただきました。レース大会以外にも、合間を縫ってステージ上では様々なプログラムを行いました。1回目のトークショー「プロレーサーとeスポーツ」では、プロレーサーの池島実紅選手、佐藤公哉選手、元嶋佑弥選手に出演いただき、レーサーになったきっかけやこれからのeスポーツに対する思いなどを語っていただきました。

2回目のトークショー「NISSAN GT-RとJeGT」では、NISSAN

GT-R、フェアレディZの統括責任者・田村宏志氏、プロレーサー兼モータージャーナリスト・桂伸一氏に出演いただき、リアルモータースポーツやグランツーリスモにおけるGT-Rの存在などについて話していただきました。

その他eスポーツの関連企画として、1's Battle Dogs所属のプロゲーマー・瀬田風選手と来場者による「ぶよぶよプロゲーマーに挑戦!」や協賛企業の賞品提供によるじゃんけん大会も行い、会場は大いに盛り上がりしました。



屋外会場

「eスポーツとモータースポーツの融合」というコンセプトのもと、屋外会場ではNISSAN GT-R、TOYOTA Supraの試乗会や、マクラーレンやアストンマーティンといった高級外車の展示、六甲アイランド内の高級中古車販売店リンテックによる展示販売ブース、TRUSTの運営協力によるキッズメカニック体験、ふわふわ遊具コーナーなど、老若男女を問わずご家族で楽しんでいただけるコーナーを設けました。



ZERO ROUND @KOBE



JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING

- 広 告 宣 伝 -
- フォトギャラリー -

ポスター

発行部数：200部



ホームページ

開設日：7月12日 アクセス数：9,550件（10月10日現在）



フライヤー

発行部数：30,000部 配布エリア：六甲アイランド内全域、東灘区・芦屋市・西宮市の山手エリア



当日用案内パンフレット

発行部数：2,000部



SNS 公式アカウント



@JegtP
<https://twitter.com/JegtP>



https://www.instagram.com/jegt_grand_prix/?hl=ja



パブリシティ

- auto sport web <https://www.as-web.jp>
- Clicccar <https://clicccar.com>
- WEB CARTOP <https://www.webcartop.jp>
- web option <https://option.tokyo/>
- RACING DIARY <https://www.racing-diary.com>
- funglr GAMES <https://funglr.games>
- carview <https://carview.yahoo.co.jp>
- ORICON NEWS <https://www.oricon.co.jp>
- 号外NET 神戸市東灘区 <https://kobehigashinada.goguy.net.jp>
- ミュゲムス <https://mugemus.com>
- gtplanet <https://www.gtplanet.net>
- Rakuten infoseek News <https://news.infoseek.co.jp>
- NEWS Colect <https://newscollect.jp>
- 関西ウォーカー 発売日:9月24日
- サンデーライブゴエでSHOW」(MBSラジオ)
放送日:9月29日(日)12:20~12:30(生放送)

プレスリリース

PRESS RELEASE

開催地係各位

2019年9月5日
JeGT実行委員会



創設する、クルマのミライ
ZERO ROUND @KOBE
JeGT GRAND PRIX
JAPAN ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING
9.29 SUN
10:00-start

eスポーツxモータースポーツの
新たなレースカテゴリー
**JeGT GRAND PRIX
ZERO ROUND @KOBE 開催**
吾輩のクルマ離れ解消と
国内eスポーツのさらなる発展へ

JeGT実行委員長（神戸市東灘区、委員長：北嶋雄一）は、2019年9月29日（日）、eスポーツとモータースポーツのコラボによる新たなレースカテゴリー「Japan electronic Grand Touring（以下、JeGT）」を立ち上げ、そのプレ大会として「JeGT GRAND PRIX ZERO ROUND @KOBE」（以下、JeGT ZEROラウンド）を兵庫県芦屋市のサンポートで開催いたします。

【JeGT ZEROラウンド】大会公式サイトURL：<https://www.jegt.jp/>

●**JeGTとは?**

「F1」「SUPER GT」「D1 GRAND PRIX」など、モータースポーツは国内外で今も幅広い人気を誇る一方、フルタイムでは若者のクルマ離れが進む現状に大きな危機感を感じています。

そんな若者世代を中心に、近年国内ではeスポーツが大きな注目を集めています。その認知度や楽しさは野球やサッカーなどのメジャースポーツに匹敵します。まだまだ世界市場の過半数を佔めています。

そこで私たちは、モータースポーツとeスポーツを融合させ、プロレーシングチームやプロゲーム・シミュレーションゲームでも活躍を誇り続けるレースカテゴリー「JeGT」を立ち上げ、クルマ業界における「若者のクルマ離れ解消」と、eスポーツ界における「国内市場のさらなる発展」を目指します。

●**JeGTの特徴と組織概要**

モータースポーツが行われる会場は、サニポート東灘会場の空想館と隣接した場所がほとんどです。そのため観客の方々は大半のクルマ好きであり、クルマの魅力を抑えられない方への訴求が課題となっていました。

Motor Sports	e-Sports
高い集客力と話題性 （例：富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット）	むかとも設備整った （例：大阪府立体育科学センター、東京国際フォーラム）
相互補充効果あり	+
地域活性化に貢献	認知度の向上が期待できる

また、eスポーツは、大会とさまざまな企業協賛が可能なカテゴリであり、2019年の世界選手権文化プログラムとして既に採用されている、今後もメディアの注目度が上がることが期待されています。現時点における国内での認知度やeスポーツとしての環境整備は依然として低く、まだまだ国内全体に見限している点は否れません。

JeGTは、モータースポーツとeスポーツ双方の魅力を存分に活かしながら、互いの経験を還元することを見据え、両分野のさらなる発展を冀望しています。

また、会場を選定せずに行うことで多岐にわたる、開催地域の賑わいづくりに貢献します。

PRESS RELEASE

**JEGT
ISLAND PRIDE**

●**2020年4月より公式イベントを開催予定**
J>は、プロレーシングチームとプログラミングチームを中心に活動を展開。リアルモータースポーツと同様に、年間を通してラウンド制による選手大会を全国の県道地場等で実施します。プロの串刺したドライビングテクニックも、アクセルとブレーキの間に見えることのできる真面目な大会となります。

●**プレ大会「J> ZEROラウンド」を開催**
J>の発足を記念して、9月29日(日)に神戸市東区・六甲アイランドの商業施設「神戸ファッションマート」でプレ大会「J> ZEROラウンド」を開催します。
今大会ではPlayStation®4用ソフトウェア「グランツーリスモSPORT」を使用したレースをはじめ、クルマやスポーツ関連のプログラムを実施します。

●**モータースポーツ、eスポーツのトップドライバーをはじめ多彩なチームが参戦!**
モータースポーツからは、FIA公認の世界シリーズ「SUPER GT」のトップドライバー「シロアオ・バクロ・タチノリハヤタ」選手陣が「Dration Racing」がスポンサーには10月に開催される近畿圏の手塚製作所『新創血闘』選手陣が「NISSAN GT-RUST Racing」の「BATTLE DOGS」の参加が決定しているほか、チューニングパーツメーカーやカスタマイズショップも参戦します。

●**多彩なサブプログラムも開催**
旧屋敷自動車会館の協力のもと、調音マスターバスターの代名詞ともなる「NISSAN GT-R」と「フェアレディZ」の競速競技である田村重忠氏によるトークショー「NISSAN GT-RとJ>」や、「TGT-R NISMO 2020年モデル」、「GT-R 50周年記念車」もはらぬ。他、出場チームが所有するレースカーの展示販売会、コスプレマッチは様々な多彩なサブプログラムを実施して、大気を盛り上げます。




シロアオ・バクロ



タチノリハヤタ



田村重忠

協賛企業	
主催者	J> ISLAND PRIDE実行委員会(J>)
後援者	2019年度J>実行委員会
協賛店(主)	岡山・京都・大阪・神戸・福岡・名古屋・札幌・仙台・新潟・山形・秋田・岩手・青森・宮城・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡・愛知・岐阜・富山・石川・福井・滋賀・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・徳島県・香川県・高松市・愛媛県・高知県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県・沖縄県
A	J>主催者
B	協賛店(主)
C	協賛店(主)
D	協賛店(主)
E	協賛店(主)
F	協賛店(主)
G	協賛店(主)
H	協賛店(主)
I	協賛店(主)
J	協賛店(主)
K	協賛店(主)
L	協賛店(主)
M	協賛店(主)
N	協賛店(主)
O	協賛店(主)
P	協賛店(主)
Q	協賛店(主)
R	協賛店(主)
S	協賛店(主)
T	協賛店(主)
U	協賛店(主)
V	協賛店(主)
W	協賛店(主)
X	協賛店(主)
Y	協賛店(主)
Z	協賛店(主)

エントリー車両	チームカテゴリ
NISSAN TRUST Racing v.100	プロレーシングチーム
GRANDPRIX RACING	プロレーシングチーム
AFRICA RACING	プロレーシングチーム
EV BATTLE DOGS	プロレーシングチーム
GOODYEAR RACING	プロレーシングチーム
NISSAN GT-RUST RACING	プロレーシングチーム
Team KARS	プロレーシングチーム
WINNERS RACING TEAM	プロレーシングチーム
WEB CARTON	プロレーシングチーム
with option	プロレーシングチーム

【報道関係者様へのお問い合わせ先】 J>実行委員会 担当：北浦・福田
TEL:078-857-0677 (株式会社ニュースダスト内) MAIL:jegtsports@newsdust.com

© J> ISLAND PRIDE. All Rights Reserved. J> ISLAND PRIDE is a registered trademark of J>. All other trademarks are the property of their respective owners.









2020年、開幕。



**JAPAN
ELECTRONIC SPORTS GRAND TOURING**